

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス事業）

○事業所名	児童発達支援事業所 あっぷる		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 10日		～ 令和 7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 22名（きょうだい家庭含む）
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 10日		～ 令和 7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の能力に応じた課題を提供できており、成長に応じて内容をステップアップできている。	一人一人の障害特性や興味関心のあることを把握し、得意なことや苦手なことに配慮しながら課題を設定している。	職員目線の支援ではなく、利用者さんが自分の意志で様々なことを選択できるように、情報提示の方法を見直し、自らが活動の内容を組み立てられるようにしていく。
2	事業所内イベント・行事を定期的に行い、様々な体験をすることができる。	本人の主体性を尊重しながら無理なく参加できるよう、部分的な参加もできるようにしており、一人一人に合った形態をとっている。	楽しい経験や成功体験の積み重ねができるように、地域の身近なイベントへ参加し、社会体験が増えるようにしていく。また利用者さんの自信に繋がるようにしていく。
3	利用者さん一人一人について職員間で共有している。	些細なことであっても注視し、情報共有をしている。	職員一人一人がさらに専門性を高められるように、研修や他機関との連携の向上を図る。保護者の困り感に対してより適切な助言ができるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	取り組んでいることでも保護者に伝わっていないことがある。	発信の内容や機会が定まっていない。連絡帳を活用しているが、利用者支援を同時に行っている関係で記載漏れがあるのではないかな。	利用者支援と情報発信が明確となるように、ICTの導入を検討したり、保護者お便りの中でより詳しい活動や環境の写真の掲載、内容の充実を図っていく。パンフレットの内容の見直しも行う。
2			
3			